



社会人  
 学生  
 高专  
 高体連  
 中体連  
 小学生  
 県協会

全国大会  
 ブロック大会  
 都道府県大会  
 地区大会

男子  
 女子

試合番号 鹿本-女43

年月日 2019年8月7日(水)  
 大会名 令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A		大分高等学校						県立水海道第二高等学校						B	
熊本県		山鹿市			山鹿市鹿本体育館						準々決勝				
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加プレイ	A	B	
	17	11	33 20												
7m得点/総数		チームタイムアウト			チームタイムアウト						7m得点/総数				
1/2		1	2 後半	3	1951		1	2 前半	3	0/1					

No.	大分高等学校	G	W	2'	2'	D	DR	No.	県立水海道第二高等学校	G	W	2'	2'	D	DR
1	廣田 美月							1	稲葉 沙海						
2	清水 愛果	4						2	田村 愛華			1			
3	本田 早留香							3	加藤 晴桜	9					
4	後藤 真子							4	中村 彩名	1					
5	三浦 那月	4						5 C	竹村 ひなた	1					
6	高橋 舞	2						6	岡本 楓	2					
7	竹ノ下 あかり	1						7	吉田 彩希	1					
8 C	後藤 ほたる	7						8	倉持 花帆						
9	高橋 唯	7		1	1			9	野村 桜	1					
10	萩尾 ほのか	8						10	布田 咲	4					
11	山崎 晶							11	瀬崎 有菜						
12	幡東 妃美希							12	加藤 芽依						
13	堤 千葉留							13	服部 月鈴	1					
14	山口 映							14	上遠野 空						
役員A	瀧元 泰昭							役員A	飯田 健一						
役員B	東恩納 健							役員B	飯村 裕志						
役員C	阿南 屈都							役員C	太田 愛未						
役員D								役員D							

A	瀧元 泰昭	チーム役員A署名	飯田 健一	B
---	-------	----------	-------	---

レフェリー	畑中 寛之	梅木 信男	畑中 寛之	梅木 信男
TD	石崎 章弘	長谷 隆夫	石崎 章弘	長谷 隆夫
MO	島村 浩信		島村 浩信	



記録用紙  
ランニングスコア

試合番号 鹿本-女43

年月日 2019年8月7日(水) 会場名 山鹿市鹿本体育館  
大会名 令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

A 大分高等学校 33 VS 20 県立水海道第二高等学校 B 女子 準々決勝

スローオフ 大分

Score summary table showing 17-11 and 16-9, with 7mTC.

Main player performance table for team A (大分) with columns for player number, result, points, and time.

Main player performance table for team B (県立水海道第二) with columns for player number, result, points, and time.

Summary table for team A (大分) with columns for No., G, W, 2', 2', D, DR.

Summary table for team B (県立水海道第二) with columns for No., G, W, 2', 2', D, DR.

Ref 畑中 寛之 梅木 信男  
TD 石崎 章弘 長谷 隆夫  
MO 島村 浩信

特記事項

# No.16 ハンドボール

令和元年度全国高等学校総合体育大会  
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

## 戦評

開催日	2019年 8月 7日 水曜
会場	山鹿市鹿本体育館
種別	女子
回戦	準々決勝

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
		大分	<b>33</b>	17-11	<b>20</b>
			後半		
			16-9		
	第1延長		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半
	<p>大分のスローオフで試合開始。大分は、萩尾の先制ゴールに続き、後藤のカットイン、清水の速攻と3連続得点し、たまたま3分20秒には水海道二はタイムアウトを申請。流れは完全に大分かと思われたが、水海道二は田村、布田のゴールで3対2と追い上げる。大分の高橋(ゆ)のミドルシュート、萩尾の速攻が決まり、10分過ぎ6対3と大分3点のリード。清水の真ん中でのカットインシュートが決まり、12分49秒には水海道二は2回目のタイムアウト。大分の6-0ディフェンスに対し、水海道二はコート幅広く使ってこじ開けようとするが、なかなかうまくシュートチャンスが作れない。速攻をテンポよくつなぐ大分が、中盤を9対4とリードする。徐々に水海道二は、速いパスワークから得点をあげ、21分過ぎにはGKを下げて7人攻撃を試みる。大分は素早いチェックとフットワークで間を攻めさせない。終盤、水海道二の加藤が連続してゴールを決めるが、大分が17対11の6点リードで折り返す。</p>
後半	
<p>6点を追いかける水海道二のスローオフで後半開始。大分は走ってつなぐ速攻で、三浦、萩尾、高橋(ま)が3連取して、20対11とリードを広げる。8分過ぎ、大分はエース高橋(ゆ)が2分間の退場、水海道二はダブルポストから加藤(は)が連続してカットインシュートを決める。12分を過ぎて、大分の司令塔清水が連続得点して26対15とリードを広げる。中盤には大分の後藤と萩尾がそれぞれ7得点目をあげ、29対15とさらにリードが大きくなる。大分は清水をベンチに下げ、ダブルポストで攻めるが、水海道二も必死のディフェンスで得点を許さない。20分を過ぎて、高橋(ま)のポストシュート、高橋(ゆ)が決まり、31対17この試合最大の14点差となった。終盤に水海道二の吉田のサイドシュートと野村・加藤のミドルシュートが連続して決まるが、大分が33対20で勝利し、準決勝進出となった。</p>	

記入者 中野 靖士